

NEC 建設現場顔認証入退管理サービス

NECは建設現場用の入退管理サービスとして、同社が開発した「建設現場顔認証入退管理サービス」と、MCCデータプラスが運用する労務安全書類作成サービス「グリーンサイト」を經由して、建設キャリアアップシステム(CCU)に作業員の現場入退場情報を送信する「建設現場顔認証forグリーンサイト」の二つの商品を提供している。

教育の際に本人の所属会社や個人情報を入力し、本人の顔写真とひも付けする。専用のアプリで現場入退場時に画面上の「入場」「退場」にタッチすれば、iPadが本人の顔映像を取り込み、その情報を専用クラウドに送信し生体認証する。入退場情報はCSV形式のファイルに書き出し、表計算ソフトで現場での出勤管理や労務管理、作業実績報告などの業務に簡単に利

モバイル端末で簡単に顔認証

建設現場顔認証入退管理サービスは、スマートフォンやiPadなどモバイル端末で顔認証ができるため、現場にカードリーダーなどの専用機器の設置が不要となる。生体認証のため、「なりすまし」を防止でき、衛星利用測位システム(GPS)で位置情報も同時に確認が可能で、少数の現場でも確実に現場で作業したかどうかを把握できる。

NEC第一製造業ソリューション事業部第七インテグレーション部の原田健二マネージャーは「当社のサービスは操作が簡単で、誰がいつ、どこで入退場をしたのかを正確に把握できる。作業員の方々に操作を理解してもらえらる」。青森県むつ市で施工された「むつ市総合アリーナ建設現場(熊谷組が施工)」に同サービスが本格導入された際も、操作に関する問い合わせはほとんどなかったという。



-7-

顔認証を用いた建設現場向け入退管理サービス



グリーンサイトは、MCCデータプラスが提供するサービスです

原田マネージャーは「当社では17年にゼネコンやハウスメーカーなど25社で構成するユナイテッドグループを通じて、建設現場の生産性向上に向けたソリューション事業『建設現場DXサービス』を展開している」という。

今回の顔認証サービスはその第1弾。今後も半年ごとに新たなサービスを提供していく。現場の労働力不足を側面から支援したい」という。

13年にゼネコン4社と共同開発した建設業向けの基幹システム「建設クラウド」も既に18社が採用しており、これらの基幹システムと建設現場向けサービスをつなぐようなシステムの開発も視野に入れている方針